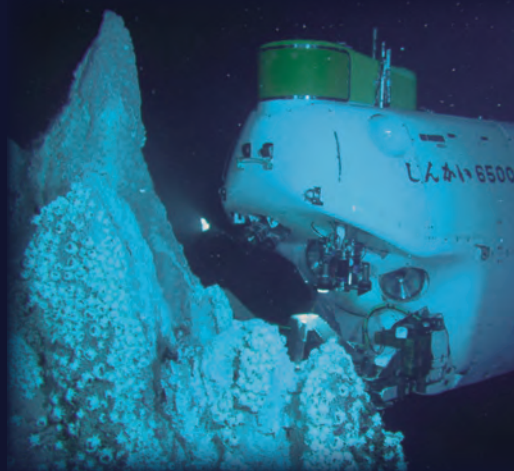


深海のふしぎな生きものと 海洋プラスチック汚染



日時

令和3年2月27日(土)

13:30 ~ 15:30 (開場 13:00)



会場 要申込

高新文化ホール

高知新聞放送会館 東館7F

高知市本町 3-2-15

えこらぼホームページの申込フォーム、
メール、FAX のいずれかでお申し込みください。

E-mail : center@ecolabo-kochi.jp

FAX : 088-802-2205

申込締切 2月20日(土)

※定員に達し次第締め切ります。

定員 先着 60 名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策へ
ご協力をお願いします。



申込フォーム

ライブ配信 申込不要

YouTube

『えこらぼチャンネル』

講演とパネルディスカッションを
無料ライブ配信します！



えこらぼ
チャンネル

参加費 無料

対象年齢のめやす

小学3年生以上



13:30

講演

深海の生きものと
海洋プラスチック、
そしてSDGs

講師 藤倉 克則 さん

海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 地球環境部門
海洋生物環境影響研究センター長

14:20~

パネルディスカッション

海の生物多様性と私たちの暮らし

パネリスト

JAMSTEC

藤倉 克則 さん

JAMSTEC 高知コア研究所

星野 辰彦 さん

遊漁船「海来」船長

松尾 拓哉 さん

進行

高知生物多様性ネットワーク

岩瀬 文人 さん

主催：高知県環境活動支援センターえこらぼ (高知県委託事業)

協力：海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 高知コア研究所

後援：高知県教育委員会、高知市教育委員会、朝日新聞高知総局、高知新聞社、読売新聞高知支局、毎日新聞高知支局、時事通信社高知支局、共同通信社、NHK 高知放送局、RKC 高知放送、KUTV テレビ高知、KSS さんさんテレビ、KCB 高知ケーブルテレビ、エフエム高知 (全て申請中)

今後の新型コロナウイルス感染症の発生状況により、
内容を変更する場合があります。

宇宙よりも探査が難しいと言われる深海。

その謎に包まれた深海の調査研究を行っている海洋研究開発機構（JAMSTEC）の研究者をお招きし、深海生物の生き方の工夫などを通して海の生物多様性について学ぶとともに、地球規模での汚染が懸念される海洋プラスチックごみ問題の現状と JAMSTEC での取り組みを紹介していただきます。そして、これらが全世界で向き合っている持続可能な開発目標（SDGs）にどのように関係するのかについて考えます。

講演 13:30 ～

深海の生きものと海洋プラスチック、そして SDGs

講師

藤倉 克則 さん

海洋研究開発機構（JAMSTEC） 地球環境部門
海洋生物環境影響研究センター長



申込フォーム

YouTube ライブ配信

講演とパネルディスカッションを
YouTube『えこらぼチャンネル』
で無料ライブ配信します！
※申込不要



えこらぼ
チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC9Ui-7AGeiv6s-M2fWlwjxw/featured>

パネルディスカッション 14:20 ～

海の生物多様性と私たちの暮らし

パネリスト

JAMSTEC

藤倉 克則 さん

JAMSTEC 高知コア研究所
遊漁船「海来」船長

星野 辰彦 さん
松尾 拓哉 さん

進行

高知生物多様性ネットワーク 岩瀬 文人 さん



有人潜水調査船「しんかい6500」で
深海へ行っています！

講師 藤倉 克則 さん

海洋研究開発機構（JAMSTEC） 地球環境部門
海洋生物環境影響研究センター長

講師プロフィール

1988 年 海洋科学技術センター（現 国立研究開発法人海洋研究開発機構）入所。
「しんかい 6500」や深海ロボットなどを使い深海生物の研究を行っている。海洋生物の多様性の研究や国際的プロジェクトにも加わり、日本近海は世界で最も生物多様性が高いことを科学的に示した。主な著書等に、「深海・極限の世界 生命と地球の謎に迫る」講談社ブルーバックス、「潜水調査船が観た深海生物—深海生物研究の現在」東海大学出版会等がある。



深海の微生物の生態や
進化の謎について研究
しています！

話題提供者 星野 辰彦 さん

海洋研究開発機構（JAMSTEC）
高知コア研究所
地球微生物学研究グループ

海底下堆積物中に生息する微生物が研究対象。世界各地の深海底から採取された堆積物試料を用いて、その過酷な環境に生きる微生物の生態、生存戦略や進化を解き明かすべく研究を行なっている。また、新たな DNA の定量や AI を用いた微化石の同定に関する技術開発も行なっている。



©JAMSTEC/NHK

室戸の漁師ならではの移動水族館などのワークショップを通して、室戸の海と自然の魅力を伝えています！

話題提供者 松尾 拓哉 さん

遊漁船「海来」船長
むろと漁師の水族館 marine+
生物多様性こうち戦略推進リーダー



大阪出身。幼いころから室戸の海に魅せられ、室戸に「漁師の水族館」を作りたいとの夢をもち、関東、近畿の水族館で飼育員として、サメや深海生物等の生物の飼育、移動水族館等の運営に携わった後、室戸市へ移住。全国の水族館、研究機関の協力を得て全国でも珍しい深海魚などの漁業をおこない漁師を生業にしながら、新たな資源開発や身近な海の生きものをテーマにした深海生物の移動水族館、深海魚に同行できる全国でも珍しい体験漁業などの教育体験プログラムなどを実施している。

お問合せ

高知県環境活動支援センターえこらぼ（運営：NPO 法人環境の杜こうち）

〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目 115 番地 こうち男女共同参画センター 3F

TEL：088-802-7765 FAX：088-802-2205 E-mail：center@ecolabo-kochi.jp



ecolabo-kochi.jp

えこらぼ 検索